

家庭・地域と連携した 生きる力を育む歯と口の健康づくり

遊佐町立遊佐小学校



本校は、山形県遊佐町のほぼ中央に位置し、北東に鳥海山、南には庄内平野が広がっており、自然豊かな環境の中にあります。また、コミュニティ・スクールを導入して6年目となり、学校、家庭、地域がそれぞれの立場で健全な子どもの育成を目指し、連携・協働をして取り組んでいます。全校児童 178 名の小規模校です。



家庭との連携



保護者が先生になって授業をする「ファミリートーク」では、『歯医者さんの仕事』について話を聞きました。子ども達からは、「本物のむし歯の写真を見て気持ち悪いと思った。歯みがきしたい！」などの感想が聞かれました。

地域との連携



遊佐町の口腔衛生指導員さんと保健師さんにご協力をいただき、学年毎のブラッシング指導を行っています。一年生では寸劇や紙芝居を交えた楽しい指導をしていただいています。歯と口の健康づくり推進活動を学校ホームページに掲載し、地域の方への情報発信を始めました。

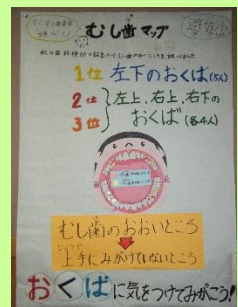
食育



6月の歯の衛生週間に合わせて、給食で「かみかみ献立」を実施しました。また、給食時に「かみかみセンサー体験」をし、噛むことの大切さについて学びました。

児童会活動

歯科検診の結果をもとに「むし歯マップ」を作成し、「むし歯の多いところ＝上手にみがけていないところ」として、朝会で全校に呼びかけをしました。また、紙芝居やクイズにも取り組みました。



ケガ防止と安全な環境づくり

廊下に「忍者ロード」を設定し、安全な廊下歩行についての呼びかけを行っています。また、遊具の使い方についても毎年指導しています。



全国小学生歯みがき大会

5年生が歯ブラシやフロスの正しい使い方を学びました。一週間、鏡を見ながら歯みがきをして、自分の歯肉の変化を実感しました。



<今後の取り組み予定>

- 学校保健委員会における学校歯科医の講話
- 酒田米菓「カタパせんべい」親子で噛む力チェック

- 親子で考えよう！良い歯をつくるレシピ
- 歯が脱臼、破折した時の応急手当対応マニュアルの作成